

### わがまち紹介 落ち着いた・心のふる里を感じる 、町屋、高槻城址近傍

平成25年1月16日(水)  
高槻市立しろあ歴史館  
10時15分集合

しろあと歴史館↓散策↓  
高槻城址近郊の町屋散策  
(約1時間半)↓昼食会  
場(新年親睦会 会場へ)  
町屋の散策は、「マチャ・テラス」の岩崎卓宏さんに説明をして頂きました。  
①散策前に、「マチャ・テラス」の資料で「マチャ」の説明して頂きました。  
②散策中の質問にも丁寧な説明をして頂きました。  
③300歳の町家では、家の中まで見学させて頂き、奥様にも説明をして頂きました。  
本当にありがとうございます。

の姿を  
急速に  
消しつ  
つあり  
ます。

町家(まちや、ちようか)とは、主に職住一体型の住居形式で、建築様式としては町家造りと呼ばれています。歴史的には、店屋と書いて「まちや」と読んでいたようです。住居を指す「町家」という語は比較的新しいようです。外観は、紅殻格子(べんがらこうし)と呼ばれる赤色の濃い格子、虫籠(むしこ)窓、犬矢来などが特徴的である。2階建てが多いが、平屋や3階建てもある。  
**虫籠窓(むしこまど)**  
明治期までの町家の2階部分に使われた標準的な窓。



犬矢来(いぬやらい)  
道路に面した外壁に置かれるアーチ状の垣根。竹

や木などでできたものが  
多い。  
町屋の魅力



町屋の表の格子は、中から外は見えるが、外から中が見えにくくなっています。明かり・風は入る様になっていて、治安の防御施設でもあるのです。特に、表格子や欄間や虫籠窓の美しさは町屋の大きな特徴であり、また魅力でもあります。町屋で暮らすと研ぎ澄まされる感性ができるのではないかと言われる。確かにどんどん便利なものが増えてきて、それに比べると町屋での暮らしは便利なものではないかもしれない。でも、それが人の心をさぼらせないのだとも言われる。便利の反対は決して不便ではない。そこではか得られないものがたくさんあるから皆が町屋に魅力を持つのでしょう。

大岡成一  
(詳しくは槻輪HPをご覧ください)

### 私にとつての不幸中の幸い、 V G 槻輪だより百号!

「V G 槻輪だより百号!」おめでたい記念号にあたり私の最近の「幸運話」です。  
平成23年3月1日から約十日間の予定で娘一家の住む新浦安に滞在していました。それは娘の手術後の再検入院などで婿と二人の孫のお世話をする為でした。その最中、11日に例の東日本大震災が起こりました。街は甚大な被害でしたが家族みな無事で一安心でした。(東日本大震災体験記は会報78号を参照下さい)

私はこの日に新浦安に居てほんとに良かった!と今でも感謝しています。この大震災がもし1日早ければ私と友人は東京駅で帰宅困難者になっていたに違いありません。震災前日の10日、昔ロンドン時代の友人と久しぶりに再会し東京駅前の高層ビル39階でランチとお茶、おしゃべりをして2時半に東京駅で別れたのです。彼女は世田谷区在住、娘さんは品川在住(私の娘と現地高校の同

級生、東京で通訳派遣会社経営し自らも不定期の同時通訳者。夫と子供1人)です。その日も娘さんの要請で3時に預けている保育園に孫を迎えに行き留守宅での子守の役割目でした。私も娘一家の為に上京でしたから、あの日のTVの映像で繰り返し見た帰宅困難者にならなかつた事に心から感謝しました。JR京葉線は地下深くまだまだ寒い3月の夜、停電と余震に怯え、しかも電話も繋がらず娘一家の安否も分からず、高槻の家にいる夫にも連絡出来ず!友人も私に会う為に災難に遭い山の手線の電車も止まりどうなっていたことかと思いません。1日違いで最悪を免れた体験です。まさに私にとつては、不幸中の幸い、と言うしかありません。どこでどんな災難に遭うか分からないのが人生です。危機一髪の体験が割りに多い私ですが最近では特に印象深い不幸中の幸いでした。

残された人生、今迄のように強運で難が逃れますように祈るこの頃です  
中川加奈子

### 2013年2月度行事予定

高山右近研究室を訪問! : 郡家新町  
(槻輪便り第100号発行記念: 特別企画)

月 日: 平成25年2月20日(第3水曜日)  
集合場所: J R 富田北バス乗り場(④バス乗り場) 9:40 集合  
富田北バス出発9:48 巡礼橋(下車)  
(J R 高槻駅北 ⑥バス乗り場 9:30 集合 9:34 バス出発  
J R 富田經由日赤行き、巡礼橋(下車))  
その他: (1)高山右近研究室HPは「高山右近研究室・久保田へようこそ」で検索  
(2)久保田典彦先生より詳細な説明を予定しています。  
(3)雨天決行です

### 2013年3月度行事予定

日本の優秀な鋳物技術と、古い生活がわかる  
旧田中家鋳物民俗資料館: 枚方市(王仁公園内)

月 日: 平成25年3月21日(第3木曜日)  
集合場所: 旧田中家鋳物民俗資料館(藤阪天神町5-1)  
枚方市駅南口1番乗り場: 12:40 時集合 12:44 出発  
京阪バス63・64系統(枚方市駅南口〜長尾駅)「藤阪」  
下車、東へ徒歩5分  
その他: (1)旧田中家鋳物民俗資料館では、学芸員の方に説明していただく予定です。  
(2)雨天決行です。